

(2) 東北



東北地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

- ・ 鉱工業生産はおおむね横ばい。
- ・ 個人消費は持ち直しに足踏みがみられる。
- ・ 雇用情勢は改善の動きがみられる。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

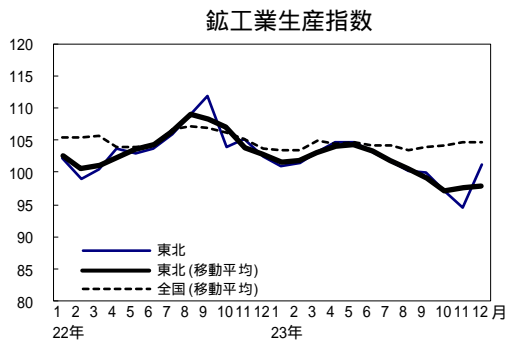
前回からの主要変更点

	前回(令和5年11月)	今回(令和6年2月)	
鉱工業生産	弱含んでいる	<u>おおむね横ばい</u>	
個人消費	緩やかに持ち直している	<u>持ち直しに足踏みがみられる</u>	

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産はおおむね横ばい。

10 - 12月期の鉱工業生産は、前期比3.0%減となった。月別にみると、10月は食料品が減少したこと等により前月比3.0%減、11月は電子部品・デバイスが減少したこと等により同2.6%減、12月は生産用機械が増加したこと等により同7.1%増となった。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		7 - 9 月期	10 - 12 月期	10月	11月	12月
電子部品・デバイス	15.3	0.0	10.1	5.0	3.2	1.2
食料品	11.0	10.4	16.7	25.3	1.5	7.8
化学・石油製品	9.1	5.7	2.0	6.2	4.3	10.0
輸送機械	7.9	16.8	4.8	0.3	2.4	1.2
生産用機械	6.7	12.7	2.6	18.3	0.5	44.4
鉱工業	100.0	3.4	3.0	3.0	2.6	7.1

- (備考) 1. 2015年=100(全国は2020年=100)、季節調整値。
東北の最新月は速報値。
2. 全国及び東北の太線は中心3か月移動平均。
直近月は2か月平均。

- (備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い15業種。
2. 10 - 12月期、12月は速報値。

2. 個人消費の動向

個人消費は持ち直しに足踏みがみられる。

(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

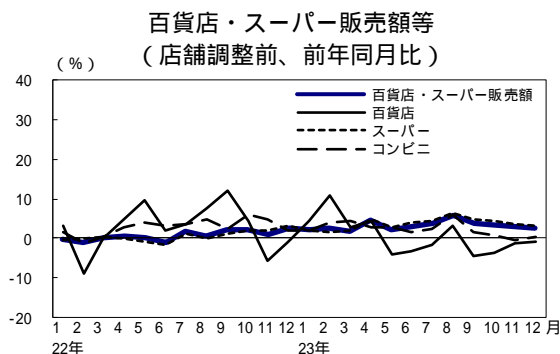
10 - 12 月期は前期比 0.4% 増となった。月別にみると、10 月は前月比 0.1% 増、11 月は同 0.7% 増、12 月は同 0.5% 増となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店・スーパーは、10 - 12 月期は前年同期比 2.9% 増となった。月別にみると、10 月は前年同月比 3.4% 増、11 月は同 3.1% 増、12 月は同 2.5% 増となった。

百貨店は、10 - 12 月期は前年同期比 1.8% 減となった。

スーパーは、10 - 12 月期は同 3.6% 増となった。

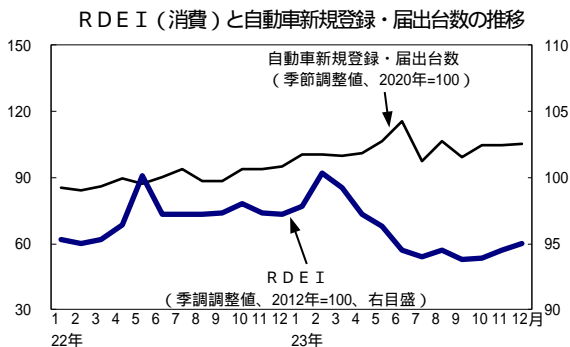


	2023年10-12月	2023年10月	11月	12月
RDEI (消費*1)	0.4	0.1	0.7	0.5
百貨店・スーパー(*2)	2.9	3.4	3.1	2.5
百貨店(*2)	1.8	3.6	1.2	0.9
スーパー(*2)	3.6	4.4	3.7	3.0
コンビニ(*2)	0.2	0.6	0.4	0.3
乗用車(*3)	11.4	12.4	11.7	9.9
(季節調整値)(*3)	3.5	5.3	0.0	0.2

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

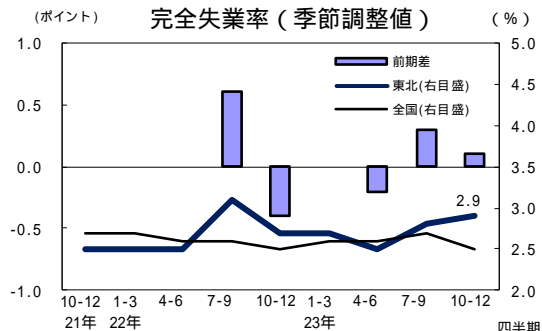
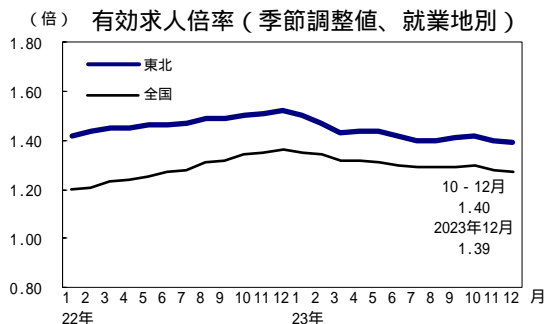
3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



3. 雇用情勢

雇用情勢は改善の動きがみられる。

有効求人倍率はおおむね横ばいとなっているものの、前回の景気循環の平均的な水準にある (P9 参照)。一般労働者の定期給与、パート労働者の時給は上昇している (P10 参照)。完全失業率は前期を上回っている。



(13) 景気ウォッチャー調査（令和6年1月調査）景気判断理由の概要

2. 東北

(◎良、○やや良、□不変、▲やや悪、×悪)

分野		判断	判断の理由
現状	家計動向関連	□	・エアコンは前年比で微増しているが、テレビや冷蔵庫は同5%程度下がっている。暖冬のため石油暖房機器が振るわない（家電量販店）。
		▲	・暖冬や雪不足の影響で、衣料品や靴等、冬の日用品の売上が伸びていない（商店街）。
		○	・東北地方全体で来客数の増加がみられる。特に年末商戦の動きは前年と比べても良好だった。インバウンドも少しだが北海道から東北に流れてきており、売上の改善がみられる（コンビニ）。
	企業動向関連	□	・顧客の半導体製造企業の投資意欲が短期的にはない状況が続いており、受注につながる話がみえてこない（電気機械器具製造業）。
		▲	・年明けから引き合いの件数が減っており、受注量も前年より少ない状況である（一般機械器具製造業）。
雇用関連	□	・上向きの話は聞こえてこない。ペースアップについても、努力はしたいが現実的には厳しいという声を聞く（新聞社 [求人広告]）。	
	▲	・大手自動車メーカーの不正問題による出荷停止で、一部取引先企業にて減産等の影響が出ている（民間職業紹介機関）。	
その他の特徴コメント			□：依然、乗務員不足でタクシーの稼働台数が不足している。雪や雨による列車の運休や、高齢者の利用により運行回数が増えている（タクシー運転手）。 ▲：当地域の旅行支援再開日程が確定したことにより、実施期間前の土日、休前日を中心とした予約の鈍化、取消しが顕著である（都市型ホテル）。
先行き	家計動向関連	□	・節約志向がより一層強くなることが予想され、買上点数の改善はしばらく厳しいとみている（スーパー）。
		○	・台湾からのチャーター便が1月から運航を開始し、インバウンドの入込が順調である。3月まで運行が予定されているため、見通しも明るい。4月以降は見通せない部分もあるが良くなるとみている（観光名所）。
	企業動向関連	□	・例年、冬期間は完成工事が減少するが、今年は降雪量が少ないため例年よりは良くなる見込みである（建設業）。
		○	・先々の生産見込み情報が出てきており、受注の見込みも増えている。売上は良くなるとみている（輸送用機械器具製造業）。
	雇用関連	□	・来期採用計画は各社調整中で、まだ方向性がみえない部分がある（人材派遣会社）。
▲		・資材価格高騰や人手不足、人件費負担増を訴える企業が増加している（職業安定所）。	
その他の特徴コメント			○：賃上げムードが強くなっていることに期待している。現状のままでは売上増加は難しいが、少し賃金が上がれば、多少は外食の方にも回ってくるのではないかと期待している（一般レストラン）。 □：前年は新型コロナウイルス感染症により売上の1割近くを抗原検査キットが占めて売上が良かったが、今月の売上も前年比99%で良い結果になっている。必要なものを必要なだけ買う客の動向は変わらないとみている（一般小売店 [医薬品]）。

(D I) 現状・先行き判断D I（東北）の推移（季節調整値）

